

# 学会ニュース

## 目次

・ 第44回大会について	1
・ 大会プログラムおよびZoomミーティングについて	1
・ 2022年度学会費納入のお願い	2
・ 2021-2022年国際執行委員会第2回委員会報告（玉田 敦子）	2
・ 第16回国際18世紀学会ローマ大会（2023年7月）について	3
・ 事務局より	3

## 第44回大会について

日本18世紀学会第44回大会は、2022年6月25日(土)にZoomを利用したオンライン形式で開催します。午前に自由論題報告、午後に共通論題報告を実施し、一日にまとめます。昨年に引き続いてのオンライン大会となりますが、前回の経験もふまえて、支障なく運営できるように大会担当幹事を中心に幹事一同で準備を進めています。HP、メーリングリスト等で適宜大会に関する情報は会員の皆様と共有していく所存であります。

この度の共通論題は「ルソーという問い：感覚の論理、真理の政治——内と外をつなぐもの——」で、コーディネーターは佐藤淳二会員です。

レクチャーコンサートとして、岩佐樹里さんによるバロック・ダンスのパフォーマンスを日本18世紀学会公式YouTubeチャンネルで配信します。大会前日の6月24日(金)から公開する予定です。

## 大会プログラムおよびZoomミーティングについて

当日の大会プログラム（タイムテーブル）は同封の別紙の通りです。

ZoomミーティングのURL等を記した「オンライン大会用リンク表」は、6月6日(月)以降に学会ウェブサイト（URLは最終ページ参照）の「大会」ページに掲載します。PDFファイルには、セキュリティ保護を目的としてパスワードをかけています。

レジュメ集もウェブサイトに掲載しております。こちらにはパスワードの設定はありません。ただし、コンテンツにはセキュリティ上のいくつかの制限をかけています。

## 2022年度学会費納入のお願い

代表幹事 逸見 龍生

2022年4月より新たな会計年度となりました。年会費の納入をお願い申し上げます。

2020年度より、会員種別が導入され、年会費が変更されております。

通常のA会員の他に、次世代支援のため、学生または常勤職をもたない方達を対象とするB会員を設けました。従来の一律5,000円であった年会費にかえて、A会員は6,000円を、B会員は3,000円を、それぞれの年会費として毎年所定の期日までに納入して頂くこととなります。

会員種別および変更後の年会費は、『年報』末尾および学会ウェブサイトの会則最新版で既に改正後のもの（会則第5条）を掲載しております。

B会員は自己申告とします。B会員としての登録をご希望の方は、会費納入の際に振替用紙の通信欄にその旨を明記し自己申告していただきますようお願い申し上げます。

学会の活動は皆様の会費によって支えられています。事務局におきましても円滑な学会運営のため身を引き締め変わらず努力する所存ですが、会員の皆様にはどうか苦しい学会の財政事情をご理解いただき会費納入にご協力をお願い致します。

口座番号は以下の通りです。

<郵便口座振替で振り込む場合>

口座記号番号：00800-7-183350      口座名称：日本18世紀学会

<銀行等から振り込みする場合>

銀行名：ゆうちょ銀行      店名：〇八九店（ゼロハチキュウテン）

預金種目：当座預金      口座番号：0183350

なお、年会費について証明をご希望の方は、『年報』末尾または学会ウェブサイトの「日本18世紀学会会則」を印刷してご利用ください。

## 2021-2022年国際執行委員会第2回委員会報告

玉田 敦子

本年、国際18世紀学会の国際執行委員会は、新型コロナウイルスの感染が拡大中のため、①第1回委員会（メール審議：2021年8月）と②第2回委員会（オンライン会議：2022年1月12日）の二回にわたって開催された。第2回委員会は副会長のシルヴィア・タッティ氏を中心にローマ大学で3日間にわたるハイブリッド会議が準備されていたが、12月以降、欧州での感染が深刻化したため、オンラインによる開催となった。

今回の第2回委員会でも、国際18世紀学会は、活動内容を世界的な規模に拡大することによって多様性を実現すること、また若手研究者の育成に尽力することが学会の目標として掲げられた。その上で以下の2点が決定された。

1) 選挙管理委員会からは、2023-27年のISECS役員の選挙候補者のリストがあらためて提出された。今回の選挙においては国際学会から「副事務局長（Assistant Secretary General）」に隠岐さや香会員（現執行委員・日本学会代表）が推挙されている。国際18世紀学会の選挙では従来西欧の学会を代表する研究者が選出されることが多いため、隠岐会員を重職に就けることでアジアでの研究活動を充実させることが現執行部の狙いであろう。日本18世紀学会の会員におかれては、是非この機会に国際18世紀学会の名簿にもご登録の上、選挙に投票をいただきたい。

2) 第17回大会の開催校について、ブルガリアのソフィア大学、また、スペインのサラゴサ大学が立候補していたが、審議の結果、2027年7月11日～17日にスペインのサラゴサ大学で開催されることに

なった。テーマは「The Enlightenment and Equality（啓蒙と平等）」である。審議ではサラゴサ大学で開催される際にはスペイン語も大会公用語となることで、南米諸国の会員に参加を促す点が重要視された。

なお報告事項としては、来年、2023年7月2日(月)～7日(金)にローマ大学（イタリア）にて開催される国際18世紀学会第16回大会のスケジュールが確認された。大会のテーマは「Antiquity and the Shaping of the Future in the Age of Enlightenment（古代および啓蒙期に構想された未来）」である。新型コロナウイルスの感染の状況が不安定なこともあり、ローマ大会ではオンラインと臨地開催のハイブリッド・スタイルでの開催が検討されている。公募期間等、詳細についてはISECSウェブサイトにおいて公開される予定である。

## 第16回国際18世紀学会ローマ大会（2023年7月）について

国際18世紀学会の第16回大会は、2023年7月3日(月)から7日(金)までの日程で、イタリアのローマで開催されます。

すでに大会用のサイト (<https://isecs-roma2023.net/>) が設けられており、発表申込の受付が始まっています。二段階に分けられています。

2022年4月30日～9月15日：パネルとラウンドテーブル

2022年10月15日～2023年1月31日：個人

発表言語は、英語、フランス語、イタリア語です。詳細については、上記の大会特設サイトをご覧ください。また、国際18世紀学会からの案内を受信するため、国際18世紀学会へのメールアドレス登録をなさってください。登録方法については、「メールアドレスご登録のお願いとメーリングリストのご案内」の末尾をご覧ください。



### 事務局より

#### 会則類の一部改定（総会協議事項）について

第44回大会当日に開催する総会において、「日本18世紀学会の役員選出に関する細則」の一部改定を協議事項として提案する予定です。現行細則では、幹事と会計監査の選出方法について「投票は郵便投票とする」と定められています。この規定を改め、電子投票を導入したいと考えています。なお、次の役員選挙は2023年2月頃に予定されています。

これを機に会則類の他の条文についても精査し、必要があれば総会で改定の是非を協議していただきます。

#### メールアドレスご登録のお願いとメーリングリストのご案内

日本18世紀学会では、会員の皆様のメールアドレス登録を進めています。それに基づくメーリングリストを介して、学会や研究会のお知らせなどをメールによって会員の方々に迅速にお知らせすることができています。大会のオンライン開催は常態化しつつあり、さまざまな案内にはメーリングリストを利用します。メールアドレスをまだ登録されていない方や、アドレスに変更のある方は、事務局までご一報ください。

また、日本18世紀学会の全会員は同時に国際18世紀学会に所属するため、日本18世紀学会に登録されたメールアドレスは同時に国際学会にも登録されます。国際学会へのメールアドレス登録を希望されない会員は、お手数ですが事務局まで個別にお申し出ください。

国際学会にメールアドレスが登録されると、国際学会からの重要な連絡を直接受け取ることができます。この登録にともない、各会員にはIDとパスワードが送られます。これを用いると、国際18世紀学会のサイトSIEDS-DIRECTに登録される会員情報にアクセスし、それを修正することができます。

(基本的に個人情報は非公開となっておりますので、希望する会員のみ、SIEDS-DIRECT上で「公開」を選択していただくことになります。) 数年おきの国際学会の役員選挙の際も、このIDとパスワードがあれば、郵送によってではなく、インターネットを通して投票することができます。

国際学会のメール登録一般と個人情報の公開の可否について不明なところがある場合は、日本18世紀学会事務局(jsecs18@gmail.com)もしくは直接に国際学会ウェブサイト担当者(Nelson Guilbert氏: admin@isecs.org)に問い合わせてください。

### 『年報』への論文投稿について

大会での発表をもとにしたもの以外の論文も投稿できます。詳しくは年報または学会ウェブサイト記載の投稿規程をご覧ください。

### 投書欄について

この「学会ニュース」に投書をしていただくこともできます。事務局までお申込み下さい。

### 共通論題のテーマ、および書評対象図書

会員からの提案を随時受け付けています。事務局または担当幹事まで。(ただし、共通論題のテーマ決定に際しては開催校の希望が優先されるので、必ずしもすぐにご提案が実現するとは限りませんが、事務局から開催校や幹事会に伝達します。)

当学会は学際的な学会であるため、会員の研究が広範囲に及び、担当幹事だけでは各分野の重要文献の情報を集めるのが困難です。書評で取り上げるに値すると思われる図書がある場合、事務局までお知らせください。(特にご自分の専門分野が当学会で十分に扱われていないと思われる方は、積極的にご推薦ください。)

### 学会ニュースのエッセー

今のところ、事務局から執筆をお願いしていますが、会員の皆さんからの希望も受け付けています。執筆を希望される方は事務局までお知らせください。

### 寄付のお願い

寄付を希望される方は、「寄付金」と明記のうえ、年会費と同じ郵便振替口座に振り込んでください。

### 献本

学会宛に以下の図書をいただきました。お礼申し上げます。

- ・ 大崎さやの『啓蒙期イタリアの演劇改革—ゴールドーニの場合』(東京藝術大学出版会、2022年3月)
- ・ マンデヴィル『名誉の起源 他三篇』壽里竜訳(法政大学出版局、2022年4月)

### 新入会員の方へ

毎年6月の幹事会で入会を承認された方はその年度からの会員となります。6月の幹事会以降に入会を申し込まれた方は12月の幹事会で承認され次年度からの会員扱いになりますので、会費の請求はありませんが、他の会員同様に諸種の配布物をお届けいたします。

### 新会員の勧誘のお願い

ぜひ18世紀研究に関心のある方を本会にご勧誘ください。入会申込用紙は日本18世紀学会ウェブサイトからダウンロードできますので、よろしくお願いいたします。

幹事会メンバー（50音順）：出羽尚（年報編集）、岩佐愛（ウェブ／広報）、王寺賢太（大会）、大石和欣（大会）、隠岐さや香（国際執行委員会派遣委員）、金沢文緒（ウェブ／広報）、川島慶子（ダイバーシティー）、川村文重（年報編集）、小関武史（事務局長、会計）、後藤正英（年報編集）、坂本貴志（総務）、武田将明（年報編集）、玉田敦子（国際執行委員会幹事）、鳥山祐介（年報編集）、逸見龍生（代表幹事）

会計監査：井関麻帆、奥香織

事務局委員：飯田賢穂、高橋駿仁、淵田仁

日本18世紀学会ニュース 第98号 2022年5月発行

発行者 日本18世紀学会 代表者 逸見龍生

事務局 〒186-8601 東京都国立市中2-1

一橋大学大学院言語社会研究科 小関武史研究室 日本18世紀学会事務局

e-mail: [jsecs18@gmail.com](mailto:jsecs18@gmail.com)

tel: 042-580-9035

<https://www.jsecs.jp/>